

アイフルホームの新金物工法
「テクノスター工法」全国で標準採用

株式会社アイフルホームテクノロジー

日本の住宅業界にF C制度を導入し、(株)21世紀住宅研究所傘下でF C加盟店網を全国に展開している株式会社アイフルホームテクノロジー(住所:東京都墨田区両国2-10-14 / TEL03(5624)1500 / 代表取締役社長:中村雅守)は、住宅の耐震性能で最高等級を実現しつつ、更なる耐震の強化を図るべく、在来木造軸組工法の要である接合部を接合金物により一段と強化した新金物工法「テクノスター工法」を、2005年10月より全国の全ての物件に標準採用して参ります。

「テクノスター工法」は、日本古来からの伝統的な住宅建築方法である在来木造軸組工法の特長を活かしながら、地震や台風などの外力の負担が集中し易い接合部の強度を更に増強且つ安定させ、地震や台風に強い住宅を実現します。

接合部の強度は、従来の在来木造軸組工法(軸組+金物プレート)に比べ、「せん断耐力は1.47倍」「引き抜き耐力は3.11倍」と高まり、より安全で安心な暮らしを提供致します。

【テクノスター工法の主な特長】

1、強度の向上

地震や台風時には木造軸組工法の住宅の場合、接合部に負担が掛かります。テクノスター工法では、プレカット加工のシンプル化で切りかきによる欠損部分が少ない木材と、独自に開発したテクノスター金物で接合部である継手や仕口を構成するため、従来に比べて、せん断耐力では1.47倍、引き抜き耐力では3.11倍に強度を高め、耐震性が大きく向上します。

2、品質の安定

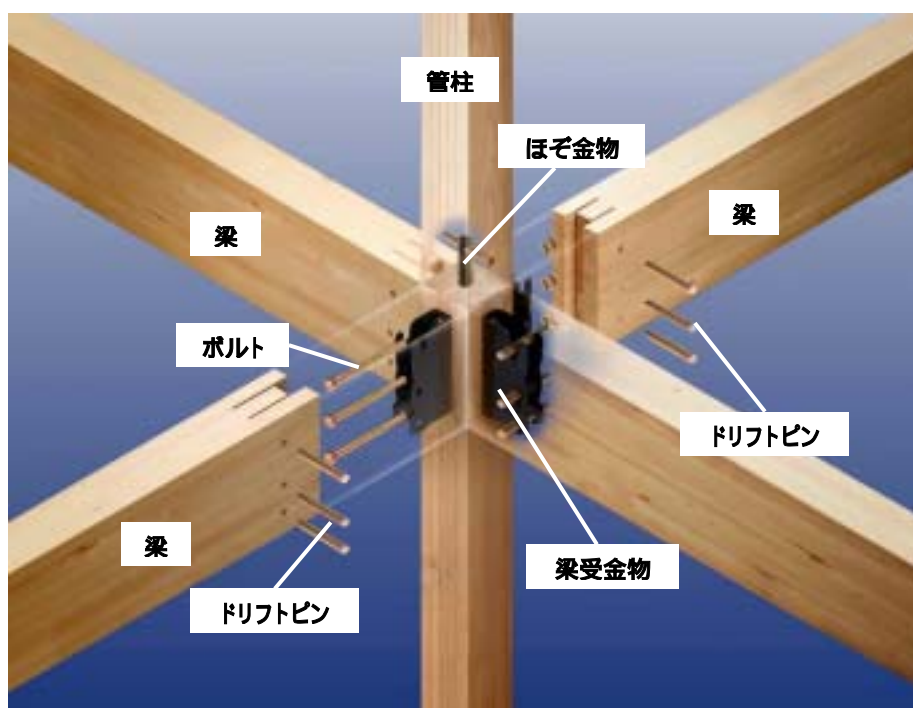
木材の接合部を複雑な形状に加工せず、テクノスター金物を取り付けるための最小限でシンプルなプレカット加工により、施工の簡易化を実現して安定した品質性能を保証します。また、施工の簡易化や各作業工程のコンピュータ管理等により施工の合理化を図り、施工時間を短縮することでコストダウンも実現しています。

耐蝕性に優れた塗膜処理（カチオン電着塗装）をすることで、金物自体の防錆性能を高め、110年以上の防錆耐用年数を実証したテクノスター金物で安定した品質性能を保証します。なお、テクノスター金物は日本住宅・木材技術センターの性能認定制度（Sマーク）の認定を取得しています。

3、見た目の向上

木の温かさを活かした小屋組みの吹き抜けなど、あらわし構造にしても金物がほとんど表に出ず、見た目にもきれいな仕上がりが可能になります。

【テクノスター工法の接合イメージ図】



アイフルホームはこれまでに、寸法変化がほとんどない「集成材」を主要構造材に採用することで品質の安定を図り、梁と床面を一体化させた「剛床工法」で構造の強度を高めて参りました。「オール集成材」や「剛床工法」に加えて、この度、「テクノスター工法」の採用で接合部の強化を更に高めることで、地震や台風などに対して現在考えられる最高レベルの安心をお届け致します。

これからも、柱や梁などの軸で支える構造の木造軸組工法の住宅を手掛けるプロとして、より安全で安心な住宅の技術開発を進めて参ります。

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

アイフルホームFC本部（㈱アイフルホームテクノロジー）

マーケティング課 広報担当 山口

TEL：03 - 5624 - 1533